

日刊 METAL RECYCLING JAPAN 市況通信

(昭和27年5月28日第3種郵便物認可) 1年81,000円 半年41,040円前納(月火水木金発行、祝・休日は休刊)(禁転載)

発行所

株式会社 日刊市況通信社

東京本社 東京都千代田区東神田1丁目5-5 マルキビル4F
電話 03(3864)6021(代表)大阪本社 大阪市中央区日本橋1-17-20 日本橋丸中ビル5F
電話 06(6631)5651(代表)名古屋支社 名古屋市中区菊井2-2-3 アーバネス菊井ビル3F
電話 052(414)7255(代表)

国内市場 先安観残る展開 関東テンダーの結果を注視

国内市場の鉄スクラップ市況は、電炉筋が夏季減産期に入り需要量が減少していることなどから、引き続き需給双方に先安観が残る展開となっている。電炉筋の集中炉休が重なる7月後半の需給緩和が予想され、電炉筋の追加値下げに動く可能性がある状況だ。



リバーホールディングス

今年に入ってから国内電炉鋼生産量は、鋼材需要や半製品輸出などの不振から、前年同期実績を下回っている。7~8月は電炉筋の夏季減産期にあたるため、さらに生産量が減少する見通しだ。

「夏枯れ」期で市中スクラップの発生が鈍ることが予想されるものの、需要減により需給が緩む見通しだ。

輸出市場では、韓国の現代製鉄が4日、日本産鉄スクラップの新規輸入商談で、前回比1,000円の値下げを提示した。H2はFOB2万7000円となり、4月からの下げ相場が3カ月以上にわたって続いている。

この輸出価格の続落を受けて、翌日の5日から東京製鉄など国内電炉各社の値下げ改定が広がることとなった。内外の要因が相互に作用しながら値下がりが続く展開となっているのが現状だ。

そうした中、関東鉄源協同組合が今日10日、鉄スクラップ共同輸出入札(テンダー)を実施する。今後の相場動向の判断材料として注目が集まっている。

普電工・小棒委員会 19年度の鉄筋出荷予測は750万トン 前年度比4.1%減

普通鋼電炉工業会(会長=渡邊誠JFE条鋼社長)の小棒委員会は8日、2019年度の鉄筋用小形棒鋼の国内需要(国内向出荷量)は前年度比4.1%減の750万トンとする見通しを公表した。

算定について、建築確認等から実需(出荷)までの平均タイムラグをこれまでは6カ月としていたが、最近の工事遅れを考慮して9カ月に変更した。建設投資見通しなどによると土木投資額が堅調と想定されており、土木向けは前年度と同水準で推移すると想定した。2018年度はオリンピック特需があったが、2019年度の予測ではこれを除外、この分で約30万トンの減少となった。その他の増要因と減要因はともに約20万トンずつで、ほぼ相殺される試算となっている。

2019年度 鉄筋用小形棒鋼国内向出荷量予測

	2008年度 実績(トン)	2018年度 実績(トン)	2019年度 予測(トン)	19/18 比(%)
建築	6,529,460	5,632,334	6,013,689	94.9
土木	1,741,189	1,486,311	1,486,311	100.0
その他	435,297	704,042	上記建築を含む	
合計	【853万】 8,705,946	【744万】 7,822,687	【750万】	95.9

注) ※数量は鉄筋用小形棒鋼国内向出荷。《出荷計-通関輸出(異形棒鋼)》
※建築・土木・その他の各内訳数値は推計。【】数値は当該年度の予測値。

渡邊会長は今回の予測について「米中貿易摩擦などで全体の景気が悪化し、工場などの投資が減ることも減少要因の考慮事項に含まれる」とコメントした。

令和元年七月十日

株式会社 松山商店
代表取締役社長 金沢秀男
喪主 都富恵

一、日時 七月三十日(火) 開式午前十一時三十分
一、場所 名古屋マリオットアソシアホテル 十六階ボールルーム
名古屋市中村区名駅一-1-4
電話 〇五二-五八四-一一一

弊社取締役 金澤光洋儀
令和元年六月十四日七十五歳をもって永眠いたしました
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます
葬儀は近親者のみにて過日滞りなく相済ませました
つきましては「お別れの会」を左記の通り執り行いますので
ご案内申し上げます

なお誠に勝手ながら御香典 御弔電 御供花 御供物等の儀は
固くご辞退申し上げます
又当日は平服にてお越し下さいますようお願い申し上げます

非鉄スクラップ展望

7月の銅・アルミスクラップ市況見通し

橋本アルミ株式会社 橋本健一郎取締役 (関西非鉄リサイクル協同組合理事長)

米中貿易戦争と米朝会談後の動向が左右

7月は引き続き米中貿易戦争の行方と米朝会談後の動向に左右されるだろう。米中貿易戦争に関しては、G20大阪サミットで予想通り一旦休戦の運びとなったため一時的には好材料と捉えることができる。ただ、先行きは再び課税戦争となることは否定できない。

米朝会談に関しても、米トランプ大統領と北朝鮮金正恩書記長との面談が行われ一時的には好材料となり得るが、北朝鮮が核を放棄するとは思えず、長期的に見ても目立った変化はないと見ている。以上2点の動向に留意したい。



橋本健一郎取締役

堅調だった。5月の輸出に関しては、銅地金が相場の下落に伴い減少。スクラップは内需低迷から増加した。

輸入は割安感から増加した。

スクラップ流通在庫は、直近の相場下落で塩漬け玉が豊富にあるため、銅建値が節目の70万円を回復したこともあり市中に徐々に出回ってくるのではないかと見ている。ただ、伸銅メーカー各社の生産状況が悪化しており、スクラップの購入意欲は低く、スクラップの販売は厳しい状況が続くと見ている。以上を踏まえ7月のLME銅価格(セツルメント)は5,800~6,200ドルのレンジ、銅建値は67万円~73万円と予想する。

銅スクラップの国内概況、景況予想

7月の銅建値は前月末からトあたり1万円高の70万円、LME銅価格は6月中旬から243ドル高の5,999ドルでスタートした。6月後半より米国の利下げ観測が強まったことや米中首脳会談の開催決定、チリのチュキカマタ鉱山の大規模なストライキによる供給不足の見方が好感され、上昇した。

国内の概況を見ると、4月の四輪自動車生産台数は81万4351台で前年同月比4.7%増。6月の国内自動車販売台数(軽除く)は29万225台で同0.9%減。生産は増加したものの、販売が減少したことは気掛かりな点だ。5月の住宅着工戸数は7万2581戸で同8.7%減だった。2カ月連で前年実績を割り込んでおり、今後の動向に注意を払いたい。

5月の伸銅品生産は同8.4%減の6万2286トで6カ月連続の減少。伸銅品の14品種のうち前年プラスは銅板の1品種のみで、需要全体に勢いがいない状況だ。今後も減少傾向が続くのかどうか注視する必要がある。5月(推定)の銅電線出荷は同3.3%増の5万6800トで国内向けが

アルミスクラップの国内概況、景況予想

指標となるLMEアルミ価格は6月中旬から59ドル高の1,778ドルで7月スタートした。6月後半より米中通商協議に対する期待感が強まったことで上昇した。

5月のアルミ圧延品生産出荷は板類・押出類の生産合計が前年同月比7.2%減の15万9483トで17カ月連続のマイナス。今後も減少傾向が続くのかどうか注視する必要がある。5月のアルミ二次合金・同合金地金等生産実績は同1.9%減の6万3946トで6カ月連続の減少となった。出荷は同0.4%増の6万5412トだった。5月の輸出は、内需低迷を受けスクラップのみが増加。輸入も内需低迷で全品種が減少した。

スクラップ流通在庫は、販売価格の低迷や生産減、発生減で少ない状況が続くと見る。需要に関しても合金各社の生産状況が徐々に悪化しており、スクラップの購入意欲は低く、銅スクラップ同様に販売面は厳しい状況が続くと見ている。

以上を踏まえ7月のLMEアルミ価格は1,700~1,900ドルのレンジ。スクラップ購入価格は据え置きから-5円程度と見込んでいる。

7月予想レンジ		基調
LME銅セツルメント	5,800~6,200ドル	堅調
銅建値	670~730円(¢)	堅調
為替	1ドル=107~110円(1カ月間TTM)	揉み合い

7月予想レンジ		基調
LMEアルミ現物後場買い	1,700~1,900ドル	堅調
スクラップ価格	-5~±0円	揉み合い
為替	1ドル=107~110円(1カ月間TTM)	揉み合い

普通鋼電炉工業会
渡邊会長記者会見「在庫率が高く 需要見合いの生産が重要」
厳しい状況だが

普通鋼電炉工業会(会長=渡邊誠JFE条鋼社長)は8日、東京・茅場町の鉄鋼会館で会長・副会長会議および理事会を開催した。その後の定例会見で渡邊会長は、「5月の小棒出荷量は67万2772ト、うち鉄筋の国内向け出荷は前年同月比4.3%減の61万9295トで、4月の64万9267トに比べても出荷は減っている」と述べた。

建築着工床面積については、「5月は1055万㎡で前年同月比3%減と、4月に続いて減少した。このうち鉄筋造は194万㎡で、前年同月比では5%のプラス。しかし遡ってみると4月が同14%減、2月が同5%減など、実需に反映される9カ月間をみると厳しい状況にある。

用途別では、居住用が前年同月比5%減の638万㎡、非居住用が同1%減の417万㎡と、いい結果ではない。鉄筋造を地域別に見ると、北海道が5月は同22%減の9万㎡、4月は同29%減の11万㎡と、調子が悪い。関東も、5月は17%増の82万㎡だが4月は同14%減の85万㎡と、9カ月後の実需反映を考えると厳しい状況と言える」とコメントした。

鉄筋出荷については、「5月は前年同月比4.1%減。在庫率は89.7%で、昨年9月の92.6%以来の高さ。今が一番厳しい時期だが、需要見合いの生産が重要だと、会員会社に訴えたところだ」と語った。

海外 米国週間粗鋼、再び今年最も少ない数量に 7月第1週 184万7千ト

7月第1週(6月30日～7月6日)の米国週間粗鋼生産量は、前週比4千ト(0.2%)減の184万7千トだった。前週6月第5週(23～29日)の185万1千トを下回り、3週続けて今年最も少ない週間粗鋼生産量を更新した。夏季の減産期に突入したこともあり、190万トを超えることが多かった1～5月に比べると、6月入り以降は減少傾向に転じ、特に後半は生産水準が落ちている。

■平均操業率は2週連続の80%割れ

7月第1週の米国のメーカー平均操業率は、前週比0.1ポイント下落の79.4%となった。2週連続で80%を下回った。前週比では3週連続のポイントダウンとなり、前週に続き今年最も低い操業率を更新した。生産量の減少に伴い、操業率も下落が続いている。

■暦年累計は前年同期比5.3%増の5045万8千ト

2019暦年7月第1週までの米国の粗鋼生産量累計は、前年同期比254万ト(5.3%)増の5045万8千トとなった。年始から5月までは近年の中で見ると特に生産水準が高く、暦年累計も前年同期比で増加している。

米国週間粗鋼生産量と操業率(2019年)

週(期日)	生産量 千ト	操業率 (%)	週(期日)	生産量 千ト	操業率 (%)
12/30～1/5	1,876	80.0	5/5～11	1,927	82.8
1/6～12	1,891	79.8	5/12～18	1,900	81.6
1/13～19	1,912	80.7	5/19～25	1,892	81.3
1/20～26	1,922	81.1	5/26～6/1	1,890	81.2
1/27～2/2	1,889	81.2	6/2～8	1,875	80.6
2/3～9	1,897	81.5	6/9～15	1,887	81.1
2/10～16	1,886	81.0	6/16～22	1,873	80.5
2/17～23	1,907	81.9	6/23～29	1,851	79.5
2/24～3/2	1,927	82.8	6/30～7/6	1,847	79.4
3/3～9	1,941	83.4			
3/10～16	1,930	82.9			
3/17～23	1,934	83.1			
3/24～30	1,913	82.2			
3/31～4/6	1,928	82.8			
4/7～13	1,915	82.3			
4/14～20	1,903	81.8			
4/21～27	1,895	81.4			
4/28～5/4	1,915	82.3			

出所: AISI

2019年粗鋼生産 累計	50,458
前年同期	47,918
2019年操業率	81.2%
前年同期	76.7%

同週までのメーカー平均操業率は81.2%と、前週までと同じ率で推移した。前年同期実績は76.7%で、前年同期比では4.5ポイント高。前年同期比での差は前週までから変動なく推移した。

私達は資源リサイクルに貢献します

With environment with society. Metal solution of the Fukuda metal.

SCRAP NETWORK PARTNER



福田金属株式会社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目11-20
根来ビル2F
URL <http://fukuda-kinzoku.co.jp>

TEL (06) 6567-2588
FAX (06) 6562-7098
E-mail fukuda@fukuda-kinzoku.co.jp

関東 5月の市中スクラップ流通・供給量 56万7千トン 需要低迷し1割強の減少

(東京) 関東市場の市中スクラップ流通・供給量が伸び悩む状況が続いている。5月の流通・供給量は前月比18万600トン(24.1%)減、前年同月比7万8100トン(12.1%)減の56万7400トンだった。月間の流通・供給量としては今年に入ってから最も少なく、2016年8月(54万9300トン)以来2年9カ月ぶりの低水準となった。

5月の関東主要電炉16事業所の粗鋼生産量(本紙調べ)はゴールデンウィーク中に炉休を実施する電炉筋が多かったこともあり、前月比3万5800トン減、前年同月比4万5800トン減の36万8000トンと低水準だった。また、高炉筋の市中スクラップ購入量は同2,000トン減、同1万3000トン減の推定6,000トンとなり、関東域内の鉄スクラップ需要が大幅に減少した。船送り数量も同8万600トン減、同1万2800トン減の22万6800トンへ減少。さらに電炉筋の在庫量が4月末の20万3300トンから5月末には16万4200トンとなり、減少分の3万9100トンが流通・供給量から差し引かれる。このため、需要量や船送り数量、在庫の増減などをもとに集計する流通・供給量は、前月比、前年同月比とも大幅に減少することとなった。

6月は、電炉筋の粗鋼生産量と船送り数量が5月比で増加するため、流通・供給量は65万トン前後まで回復する見通しだ。それでも前年同月実績に比べると約7万トンの減少となる。

杉本グループ 第41回義恩情交歓の会を開催

(東京) 資源リサイクルや建設、不動産業などを幅広く手掛ける杉本グループ(スギモトホールディングス本社=東京都足立区、杉本義幸社長)は6日、東京都千代田区のホテルニューオータニで「第41回義恩情交歓の会」を開催した。取引先など約650名が参加した。



挨拶する杉本社長

冒頭、山一興産代表取締役社長の柳内光子氏、エムエム建材取締役専務執行役員の田中訓朗氏がそれぞれ祝辞を述べた。

次いで登壇した杉本社長は「今年は弊社創業65年目という節目の年。この年をこの会とともに平穏に通過できるのは、皆様の多大なるご愛顧の賜物だと感謝している。また、今月21日には参院選が開催される。政権選挙ではないがこれからの日本の趨勢を占う重要な選挙だと認識している。我が国の主権と国益をしっかりと守り、経済の安定的成長を實踐できる政党に担ってもらいたい」と挨拶した。

関東地区市中スクラップ流通・供給量

	2018年(H.30)			2019年(H.31・R.1)		
	流通・供給量	前年同月比	%	流通・供給量	前年同月比	%
1月	649,100	46,200	107.7%	597,400	▲ 51,700	92.0%
2月	702,500	63,200	109.9%	675,200	▲ 27,300	96.1%
3月	696,600	▲ 27,100	96.3%	731,000	34,400	104.9%
4月	752,600	50,300	107.2%	748,000	▲ 4,600	99.4%
5月	645,500	30,600	105.0%	567,400	▲ 78,100	87.9%
6月	724,900	33,400	104.8%			
7月	635,900	34,600	105.8%			
8月	646,400	▲ 600	99.9%			
9月	701,800	▲ 4,600	99.3%			
10月	711,500	35,600	105.3%			
11月	688,800	▲ 4,100	99.4%			
12月	695,500	▲ 57,200	92.4%			
合計	8,251,100	200,300	102.5%	3,319,000	▲ 127,300	96.3%

日刊市況通信社調べ(単位:トン、関東地区は1都6県)

※2019年1~4月の流通・供給量の数値を見直し、修正しました。

関東 先安観残り軟調推移

(東京) 関東市場の鉄スクラップ市況は、前週末の値下げ以降は目立った値動きが見られず、様子見商状だ。ただ、電炉筋が夏季減産期に入り、輸出価格も続落している状況にあるため、需給双方に先安観が残る展開。軟調な相場展開を予想する声が多いのが現状だ。今日10日の関東鉄源協同組合の鉄スクラップ共同輸出入札(テンダー)が今後の判断材料となりそうだ。

9日時点の関東市場のH2炉前実勢価格は1トンあたり2万5000~6000円中心。H2浜値は2万5500~6000円中心で推移している。

その後、国家基本問題研究所理事長でジャーナリストの櫻井よしこ氏が「この国の行方~日本の在るべき姿~」と題した講演を行った。次いで催されたアトラクションでは、歌手の松崎しげる氏がコンサートを行い、会場を盛り上げた。参加者は和やかな雰囲気の中、食事やお酒を堪能し盛会のうちに終了した。

安心・安全・信頼・MARUEI

ISO14001認証取得(2002年12月)

- ・製鋼原料加工処理・古物商
- ・産業廃棄物処分・収集運搬
- ・公認計量業務
- ・鉄・非鉄高価買入

株式会社 丸 栄

代表取締役 諏訪丈晴

本社工場 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田5-18-9
(認証取得工場) TEL 0480-58-1027 FAX 0480-59-0145
野田工場 〒270-0239 千葉県野田市泉2-2-1
TEL 04-7190-5111 FAX 04-7127-0270
URL <http://eco-maruei.com>

名古屋 弱気材料のみ目立つ格好で弱気配

(名古屋) 名古屋地区の鉄スクラップ市況は前週末にかけてさらに500円方下げが一巡したあとも、環境難からなお弱気配の展開にある。既に、軟弱市況は4カ月目に入っており、市中滞貨玉の出つくし感から業者間にはヤード入荷難の声も聞かれるが、電炉の入荷は安定を保っていることで、市況の底値はなお見えてこないことである。

電炉筋は夏季減産期を迎えているため、今月の生産計画では大半で大幅減を予定している。ことに、月下旬からは夏季炉休が集中することで消費はさらに後退するものと見られており、これが来月初旬にかけて続

くため、需給の改善にはなお時間を要するのではとの見方である。電炉間には前月末在庫が水準高となったことから、月初来モノによって荷受け制限が見られることで、業者は納入先が狭くなっているケースも見られ、市況先安観から在庫を嫌う向きもあり、なお出荷を優先させる姿勢にあることだ。

輸出の成約難から湾岸港の集荷意欲は積極性に欠けることで、市中玉の余剰感も懸念されている。今日10日に予定されている関東鉄源協組の7月共同輸出入札の結果によっては、東鉄の追加下げも予想されると見られており、この動向が注目されている。

鋳・可鍛メーカー向け新断は前月来5.5方下落し軟調模様

(名古屋) 鋳・可鍛メーカー向け新断スクラップは、5~6日の電炉建値改定で、さらに500円方下押しが広がっている。扱い筋の仕切り値は、業者ヤード持込み3万1500~3万2500円どころ。

新断の発生は自動車関連を中心に安定した動きとなっている。鋳・可鍛メーカーの操業率は自動車関連ではほぼ横ばいと底堅く推移しているが、工作機械や建設機械関連では輸出向けの受注が減少しており、全体としてやや低下傾向にある。専業者筋では、ダクタイ

ル向け上物は近年のハイテン化や表面処理の増加により品薄感が強いが、FC向けは余裕が見られ、需給緩和傾向にある。

相場は4月以降の続落で、9,000~1万1500円方下落。6月以降でも5,000~6,000円値下がりして弱基調が続いている。扱い商社の仕切り値は、ダクティル鋳鉄メーカー向け(FCD)3万8000~3万9000円、ねずみ鋳鉄メーカー向け(FC)3万5000~3万6000円どころ中心でバラついている。

優れたものづくり「愛知ブランド企業」の候補者募集

(名古屋) 愛知県では、県内の優れたものづくり企業を認定する「2019年度愛知ブランド企業」の候補者を募集している。

愛知県では優れた企業活動を行っている先導的企業を「愛知ブランド企業」として認定し、県内製造業の実力を国内外へ広く情報発信を行っている。2003年度から認定を開始し、現在379社を認定。応募資格は愛知県内に本社または工場を有する製造企業。認定基準は①理念、経営トップのリーダーシップ②人の活性化③業務プロセスの効率化、革新④コア・コンピタンス

(技術・製品・プロセス等における独自の強み)⑤顧客との関連性の質、深度を高める顧客価値構築⑥社会、環境への配慮。認定期間は認定を受けた翌年度の4月1日から5年間(更新あり)。

認定方法は事前に調査書を提出し、8~10月に担当職員が企業を訪問し現地確認。その後、「愛知ブランド評価委員会」で認定基準を満たす企業を選定する。申請期限は7月31日。

問い合わせは愛知県経済産業局 産業振興課 基盤産業グループ(電話052-954-6345)まで。

総合メタルリサイクル企業

製鋼原料全般
ギロチンシャー加工



萬 日鉄萬金属株式会社

代表取締役社長 木村 啓孝

本社工場 滋賀県愛知郡愛荘町長野328-2
TEL0749-42-5245 FAX0749-42-5654
本社第二工場 滋賀県愛知郡愛荘町長野141-1
TEL0749-49-4335 FAX0749-49-4330
栗東工場 滋賀県栗東市手原6-3-5
TEL077-553-5010 FAX077-553-5102
京都工場 京都府久世郡久御山町野村南浦35-1
TEL075-632-5666 FAX075-632-5654
大阪工場 大阪府大阪市大正区鶴町3-1-7
TEL06-6551-7888 FAX06-6551-7898
岐阜工場 岐阜県岐阜市柳津町上佐波西1-95
TEL058-270-0315 FAX058-270-0316
<http://www.nittetuman.co.jp>

トータルリサイクリングマネジメント
[ギロチンシャー・プレス加工]



平田工業株式会社

TEL: 052-653-4141(代)
FAX: 052-652-6354



〒454-0056
本社工場: 名古屋市中川区十一番町5-6
第二工場: 名古屋市中川区十一番町6-6
弥富埠頭: 弥富市楠三丁目19
西三区 TEL 0567-66-5175
FAX 0567-66-5176

大阪 需要減退つづき下落圧力残る展開

入荷抑制に向け一部下げ対応も

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は依然として弱基調がつづいている。輸出契約がすすんでいることは好材料だが、電炉需要の停滞によって、制限買いは行われたままにあり、一部ながらも値下げ対応が継続していることで、先安観測を拭いにくい展開といえそう。同地区電炉のH2実勢値は2万5500～2万6000円、新断バラ同2万7500円～2万8000円(一部上値2万8500円)、銅ダライ粉バラ同2万2500～2万3000円(一部上値2万3500円)見当で推移している。

9日から関西鉄源連合会の共同輸出船積みが行われていることで、今週は前半にかけて電炉向け出荷に集中する構図は考えづらく、今週末からの3連休によって、電炉筋の在庫調整もある程度はすすみそう。また、欧米産トルコ向け輸出価格の反発を受け、アジア向け輸出商談もFOBベースで地区相場を上回る契約がすすむなか、今週には関東テンダーも控えるため、「ここから大きく下げ向かうとは思えず、テンダーの結果によっては湾岸の購入意欲も次第に高まり、値下げに歯止め

をかける材料にもなり得るのでは」(ヤード業者筋)との声も聞かれる。

ただ、電炉筋の大勢は今週も入荷を最小限にとどめるための制限買いを行っており、需要減退が継続している。今月生産は本紙推定で23万6000トンと先月比で3万5000トン前後の落ち込みが見込まれるほか、各社、在庫も適正レベルを上回ったままにある。9日から新関西製鉄がH3～L1を500円、中山製鋼所もH1のみ500円の値下げを行い、入荷抑制に向けた調整下げをつづけるなかで、今月下旬からは8社中4社が夏季炉休入りとなり、足元の在庫状況からすれば、期間中の荷受け動向に不明な部分も多い。また、アジアミルも一定の輸出契約がすすめば、再び買いを緩めるとの懸念は残ったままにあるため、「需給環境が改善したわけではなく、輸出も一過性の成約にとどまることも考えられる。このまま下落圧力を受けた状態には変わらない」(商社)と先行きを不安視する向きが多いようだ。

大阪金属リサイクル工業協同組合、16日(火)に1年半ぶり共同輸出入札

(大阪) 大阪金属リサイクル工業協同組合(多屋貞一理事長:株伸生スクラップ社長)は来週16日(火)に第36回共同輸出入札を実施する。入札数量は3,000トン、品種はH2グレード中心、積み期は令和元年8月1日(木)

～8月31日(土)(但し、10～19日は除く)。見積もり提出期限は16日(火)正午。

前回は昨年1月29日に行われたが、希望価格に達せず流札となった。

大阪電炉の夏季炉休、7月後半から4社が炉休入り

最長は大阪製鉄と日鉄スチールの12日間

(大阪) 大阪地区電炉の夏季炉休予定日がほぼ出揃った。例年、7月と8月に夏季炉休が分散しつつも、今年は7月下旬からの合同製鉄の夏季炉休を皮切りに、29日から大阪製鉄と共英製鋼、日鉄スチールの3社が一斉に炉休入りとなり、7月後半から8月上旬にかけて集中している。新関西製鉄が盆期間中、中山鋼業が8月末から9月上旬にかけて夏季炉休を予定している。中山製鋼所は8月の4日間を部分的な炉休日に充て、岸和田製鋼については夏季炉休を行わない。なお、今夏の炉休の最長は大阪製鉄と日鉄スチールの12日間、次いで合同

製鉄と中山鋼業が11日間を予定しているが、製品受注の停滞に伴い、全体的に延長する可能性は高まったまままだ。

大阪及び和歌山電炉の夏季炉休予定は以下の通り。

▶合同製鉄=7月23～8月2日(11日間) ▶大阪製鉄=7月29～8月9日(12日間) ▶日鉄スチール=7月29～8月9日(12日間) ▶共英製鋼=7月29～8月5日(8日間) ▶新関西製鉄=8月13～17日(5日間) ▶中山鋼業=8月26～9月6日(11日間) ▶中山製鋼所=8月8～9日、8月19～20日(計4日間)。

大阪地区電炉の19年夏季炉休予定

	2019年7月										2019年8月										備 考
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
大阪製鉄・堺							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				7/29～8/9製鋼休み
岸和田製鋼																					夏季の長期炉休予定なし
新関西製鉄・堺																				●	8/13～8/17製鋼休み
共英製鋼・枚方							●	●	●	●	●	●	●	●							7/29～8/5製鋼休み
合同製鉄・大阪	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										7/23～8/2製鋼休み
中山鋼業																				●	8/26～9/6製鋼休み
日鉄スチール							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			7/29～8/9製鋼休み
中山製鋼所																	●	●			8/8～8/9、8/19～8/20炉休

関西
ステンレス

売り先難深刻化、軟調様子見

(大阪) 関西地区のステンレススクラップ相場は軟調様子見。先週末までに $\yen 5$ 円の値下げが浸透した市況は、足元ニッケル価格が値を戻すため扱い筋らも動向を見守る姿勢にある。ただ、需給面は改善されておらず、目先も指標と連動しない相場が続くとの見方が優勢だ。一部問屋筋では在庫調整から独自で5円の追加値下げに動くなど、売り先難による軟調感が深まる商状だ。

国内ミル各社の炉前引き下げは8日までに揃い、105～110円見当に下落した。足元もステンレス鋼材の受注減で減産体制を敷いており、スクラップの購入意欲は低調で制限購入が継続している。ある商社筋は「製品環境は秋需まで弱い状態が続く見通しだ」と語るなど、スクラップの需要は改善余地が乏しいままだ。

一方、韓国向け輸出大手のSUS304新切れの仕切り値は105～110円見当。先週は大阪拠点ヤードからまとまった数量の船積みを終え、在庫は一定量が減ったとされる。ある納入筋は「先行きの在庫確保の観点から、ここからの値下げの主導は考え難い」と語る。また、下げ相場の連続で日本玉に割安感が始まっており、関東地区では中国系業者が再び触手を伸ばす動きが聞かれ、

扱い筋らも今後の動向を注視している。

専業・兼業問屋筋の仕切り値は85～95円見当。ある問屋筋は「足元の発生、入荷量は極端に悪い。ミル各社の需要が通常水準ならタイト感が生じている状況だ」と語る。

現地8日のLMEニッケル価格は1万2千ドル半ばまで上昇。指定在庫が再び減少したことや、インドネシアの地震による供給不足の懸念が材料視された。直近は緩やかに回復基調を辿る。

LMEニッケル・ステンレススクラップ相場推移

	LMEニッケル相場 (月平均) \$/MT	LME Ni在庫 (期末/t)	ASIA・SABOT \$/MT	フェロクロム相場 高炭素品・\$/LB	為替相場 (TTS)
2017年平均・合計	10,407	367,776	1,223	150.00	113.19
2018年平均・合計	13,118	207,330	1,313	138.50	111.43
2018年11月	11,253	213,570	1,190	132.00	114.36
12月	10,837	207,330	1,140	132.00	113.51
2019年1月	11,342	202,782	1,180	120.00	109.94
2月	12,650	196,932	1,260	120.00	111.38
3月	13,061	182,574	1,310	120.00	112.24
4月	12,819	173,268	1,290	128.00	112.73
5月	11,998	158,604	1,210	128.00	110.86
6月	11,970	164,718	1,190	128.00	109.12
7月	12,280	154,740	1,180	—	109.12

※7月は8日までの平均値

クロムスクラップも売り先難、弱基調

鉄スクラップの続落や国際フェロクロム価格の下落、内外の需要低迷を映しクロムスクラップも弱基調。輸出筋の買値は足元 $\yen 30$ ～34円が目安となっている。インド向けの引き合いは堅調だが、台湾やタイ向けは需要が一段気味とされる。また、韓国向け輸出大手は長期の荷止めを実施しているほか、他の輸出筋も荷止めの意向を示しており、積極的な集荷は見受けられない。

一方、国内ミル各社の購入価格は34～36円中心。制限なく購入する向きは皆無で、購入枠を大幅に絞っている。そのため、内外で売り先難が目立つ商状だ。

ある問屋筋は「足元は304系スクラップよりも売り先に困っている状況だ。新規の持ち込みの依頼も多いが、

高炭素フェロクロム価格(ベンチマーク) 推移

\$/LB(セント/ポンド)	日本向け	前期比	欧州向け
2017年平均	150.0		142.0
2018年平均	138.5		130.5
2018年1～3月	126.0	21 $\downarrow$	118.0
4～6月	150.0	24 $\uparrow$	142.0
7～9月	146.0	4 $\downarrow$	138.0
10～12月	132.0	14 $\downarrow$	124.0
2019年1～3月	120.0	12 $\downarrow$	112.0
4～6月	128.0	8 $\uparrow$	120.0
7～9月	112.0	16 $\downarrow$	104.0

※日本国内7～9月積み価格は見込み値(7月上旬現在)

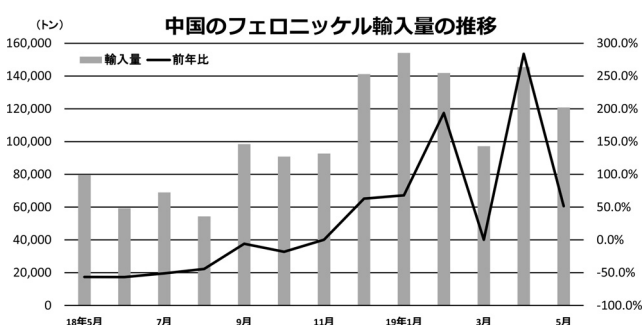
受け入れは難しいのが実情だ」と漏らす。

中国の5月フェロニッケル輸入量は12万1千トン 前年比51.5%増

中国の5月フェロニッケル(HSコード:720260)輸入量は前月比17%減、前年同月比51.5%増の12万875トンと増勢を保ち、7カ月連続で前年実績を上回った。

輸入先で最多だったのはインドネシアからで同12.2%減、同52%増の8万3828トン。コロンビアからが同3.4%減、同58.1%増の9,744トンで続いた。一方、日本からは同22.8%減、同7.5倍の2,734トンだった。

1～5月の累計輸入量は前年同期比86%増の65万9561トンで増勢が続いている。

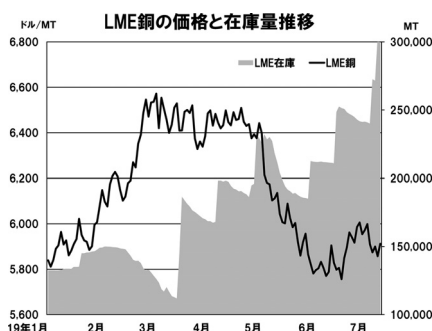


LME 上昇力削がれ方向感欠く動き

非鉄スクラップの価格指標であるLME相場は方向感を欠く展開。米中貿易協議が再開されることが決まり、7月初旬は一時的に反発機運が高まったものの、直近の値動きは力強さを欠いたものとなっている。今週はLME銅在庫が30万ト超えに急増するなど、需要の先行きに対する懸念材料も浮上。当面は上昇力を削がれる推移が続く公算が大きい。

LME銅価格は7月1日、米中協議の再開が好感され6,000ドル際まで反発した。しかし、その後は一進一退を繰り返し、5,900ドル前後での揉み合いに終始。米国株や原油価格が強含みで推移する中、非鉄相場はアルミやニッケルも含め上値の重い動きとなっている。

また、堅調感のあった需給バランスに関して



も、不穏な動きが台頭。LME銅在庫が前週から急増し、現地5日には30万ト超えを記録した。通商問題の長期化による中国の景気悪化に対する警戒が根強く、銅在庫は約1年ぶりの水準に積み上がった。前週だけで6万ト以上増えており、投機筋のリスク回避が見て取れる。

今週は米連邦準備理事会(FRB)パウエル議長による議会証言の内容が相場の焦点。早期利下げへの期待が後退し、ドル安が進めばLME価格には支援材料になる一方、為替の円高は国内相場の圧迫要因にもなる。

LME相場、他 (現地8日)					
	8日前場	前日比(%)	在庫量	前日比	前月平均
銅	5,912.00	55.00	298,300	-4,675	5,868.43
鉛	1,884.00	21.00	63,725	-325	1,891.50
亜鉛	2,392.00	-12.00	87,125	-1,475	2,603.20
アルミ	1,783.00	3.50	956,575	-7,825	1,754.08
ニッケル	12,525.00	225.00	154,740	-2,724	11,970.00
錫	18,425.00	75.00	6,495	70	19,176.55
金(NY)	1,400.00	-0.10	-	-	1,364.10
原油(NY)	57.66	0.15	-	-	54.71
為替TTS(円/¥)	109.88	0.34	-	-	109.12

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの19年8月限※為替は日本時間7月9日のTTS

亜鉛建値 1万2千円下げの30万7千円に続落

三井金属は9日、亜鉛建値を前回(4日)比1千円あたり12円下げの307円に改定した。7月の月間推定平均は311.9

円。建値の改定を受け、亜鉛スクラップの市中価格は6円前後値下がりした。

メタル 経済研究所 主任研究員に平林豊氏が着任

非鉄金属の調査研究機関である日本メタル経済研究所(会長=中里佳明住友金属鉱山会長)は7月1日付けで人事異動を行い、主任研究員に平林豊氏(前三井金属鉱業金属事業本部長付参与)が着任したと発表した。同氏は採鉱事業や資源開発分野での経験が豊富で、旧

神岡鉱山内の宇宙素粒子観測装置「スーパーカミオカンデ」の施工管理にも従事。今後は「銅の供給見込み」をテーマに調査研究に取り組む予定だ。5日に開かれた共同記者会見で平林氏は「今まで得た知識や経験を活かし非鉄業界に恩返ししていきたい」と語った。



平林 豊氏

We Can Return All Metals!

ステンレス・特殊金属 国内・輸出入



センバ株式会社

本社 中島ヤード 大阪市西淀川区中島2-2-62
電話 06-6476-5633
FAX 06-6476-5663
関東営業所 坂東ヤード 茨城県坂東市矢作1990-1
電話 0297-44-8307
FAX 0297-44-8308

URL <http://www.senba-corp.co.jp>

三立の油圧式アリゲーターシャーリング

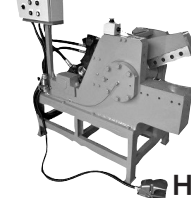
銅系・アルミ系スクラップの切断に!

安全&低価格の実用派スタンダード

60トンのダントツハイパワー



切断力30トン
HAS-250型



切断力60トン
HAS-300型

日本資源機械工業協同組合会員
三立機械工業株式会社
sanritsu machine industry co., ltd

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町335番地
TEL: 043-304-7511 FAX: 043-304-7512
URL: www.sanritsu-machine.com

鉄スクラップ相場

為替TTS(9日)
109.88円/ドル

問屋持込み価格

(単位: 千円/t)

品 目	東 京	名古屋	大 阪	仙 台	北関東	静 岡	姫 路	広 島	北九州
H S (甲 山)	17.0	10.5	16.9	15.5	17.0	10.0	17.9	18.3	17.2
H A (H 1)	16.0	9.5	15.9	14.5	16.0	9.0	17.9	16.9	15.4
H B (H 2)	15.5	9.0	14.4	14.0	15.5	8.0	16.8	15.4	14.5
H C (H 3)	13.5	8.0	13.4	12.0	13.5	7.5	15.9	15.0	14.4
新 断 バ ラ A	19.0	17.5	15.0	17.5	19.0	16.5	20.4	18.8	17.9
B	18.0	16.8	14.0	16.5	18.0	15.0	17.1	17.8	16.9
ギ ロ チ ン 材 A	14.5	9.0	14.5	13.0	14.5	9.0	16.9	15.6	14.7
B	13.5	8.0	12.5	12.0	13.5	8.5	15.5	14.3	14.3
C	9.5	7.5	10.5	8.0	9.5	—	14.5	13.5	13.5
鋼 ダ ラ イ 粉 A	13.0	5.5	11.5	11.5	13.0	5.5	15.5	15.6	16.5
B	12.0	4.5	10.5	10.5	12.0	4.0	14.5	12.6	15.5
故 銑	12.5	—	14.0	11.0	12.5	—	15.0	12.5	13.0
モ ー タ ー ブ ロ ッ ク	13.5	9.5	14.0	12.0	13.5	9.0	16.7	17.1	17.5
銑 ダ ラ イ 粉 (上)	13.5	7.5	12.5	12.0	13.5	7.0	19.5	17.9	19.5
(並)	11.5	6.5	10.5	10.0	11.5	5.5	16.5	17.4	16.7
ガ ス 材	実費	実費	実費	実費	実費	実費	実費	実費	実費
廃 車 ガ ラ	12.0	6.0	10.5	11.5	12.0	7.0	11.5	12.0	11.2
廃 車 プ レ ス	13.5	7.0	12.0	13.0	13.5	7.0	13.5	14.0	12.4
飲 料 缶 ・ 食 缶	9.5	5.0	5.0	8.0	9.5	6.0	—	—	—
ペ ー ル 缶 ・ 一 斗 缶 等	9.0	—	5.0	7.5	9.0	—	—	—	—
ド ラ ム 缶	10.0	5.5	8.0	8.5	10.0	5.0	8.5	8.5	7.0

メーカー持込み代納価格

(単位: 千円/t)

可 鍛 コ ロ 上	40.5	31.5	36.9	40.0	40.5	32.5	33.1	31.1	33.7
(配 合 甲 山) 中	37.5	29.5	33.2	37.0	37.5	29.5	30.6	28.6	29.0
下	33.0	24.5	31.2	32.5	33.0	26.1	29.0	26.6	27.0
H S	23.5	14.0	25.0	23.0	23.5	12.2	25.3	22.4	24.1
H 1	21.5	13.0	24.5	21.0	21.5	11.6	24.3	21.2	22.3
H 2	20.5	12.0	22.5	20.0	20.5	11.0	23.3	20.1	21.5
H 3	18.0	8.5	21.5	17.5	18.0	8.5	22.3	19.7	20.8
L 1	—	—	20.0	—	—	—	19.3	15.8	17.3
缶 プ レ ス C	18.5	9.0	20.0	18.0	18.5	8.0	19.5	18.4	20.8
シュレ ッ ダ ー A	21.5	10.6	24.0	21.0	21.5	10.1	24.3	18.7	22.2
B	19.5	9.6	21.0	19.0	19.5	9.0	19.2	17.7	19.5
新 断 プ レ ス	25.5	22.0	24.5	25.0	25.5	19.7	25.3	22.7	24.9
新 断 バ ラ	24.5	21.5	24.5	24.0	24.5	19.2	24.8	22.7	24.9
鋼 ダ ラ イ 粉	17.0	7.5	19.5	16.5	17.0	7.0	20.0	19.0	20.5

関東浜値(FAS)	H S	H 2	新断バラ
(単位: 千円/t)	29.5	25.8	28.5

製鋼用銑(輸入・財務省統計5月平均)	49.2
鋳物用銑(国内銑・炉前)	70.0

主要鋼材価格

(単位: 千円/t)

品 目	東 京	名古屋	大 阪
異形棒鋼 10	76	76	71
13	74	74	69
16~25	72	72	67
平鋼 6×50	99	90	92
溝形鋼 5×50×100	86	87	87
等辺山形鋼 3×25	98	97	97
6×50	85	87	86
H形鋼 5/7×100×50	106	106	106
6/9×148×100	87	87	86

LIBS(レーザー式)金属分析器

特 長

○軽金属に強い LIBS(レーザー式)で、アルミ合金・チタン合金・マグネシウム合金・鉄合金・銅合金・ニッケル合金の6種類の合金の成分を正確に分析します。
○X線の様に取扱いに規制もなく、レーザー式の中でも安全で保護メガネが不要な「クラス1M」のアイセーフレーザーを唯一使用しています。
○内部に機械的な可動部分が無いので、故障し難く堅牢です。
○検出能力が高く、アルミ合金中のベリリウムやリチウムなどはわずか1ppmまで検出します。



ChemLogix

株式会社ナニワプロジェクトス

大阪事業所 〒595-0075 大阪府泉大津市臨海町1-21
TEL 0725-20-2801 FAX 0725-20-2802
E-mail/naniwa-projex@arion.ocn.ne.jp HP/http://npx.co.jp/

非鉄スクラップ相場					(7月9日調べ △は上げ▼は下げ) (問屋持込み価格・数量1t以上・単位：円/kg)		為替TTS(9日) 109.88円/ドル			
銅系					山元建値 (円/kg)	電 気 銅	680円(3日)	貴金属価格	(9日)	
品 目		東 京	名古屋	大 阪		北九州	電 気 鉛	269円(1日)	金建値(g)	4,902円
							電気亜鉛	307円(9日)	銀建値(kg)	53,880円
一 号 銅 線 ・ ピ カ 線		554	552	554	553	アルミ系				
上 銅 ・ 新		533	529	535	527	品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
二 号 銅 線		488	474	488	490	アルミ新塊 (99.7)	230	230	230	230
並 銅		479	474	484	474	A D 12.1	253	253	253	253
下 銅		447	432	441	442	再 生 塊 (90)	174	174	174	174
銅 削 粉		452	450	452	447	新 切 アル ミ 1 級	82	80	80	78
3 号 ナ ゲ ッ ト 銅		476	477	477	475	6 3 サ ッ シ アル ミ	79	77	77	77
廃被覆電線 (43%)		107	101	107	104	ア ル ミ 印 刷 板	83	79	81	81
廃被覆電線 (40%)		62	56	62	59	一 品 合 金	70	66	69	68
銅 滓 (30%)		19	—	16	16	合 金 ア ル ミ 新	67	63	65	65
新 切 黄 銅 ・ セ パ		420	421	405	414	機 械 鋳 物	51	48	51	49
新 切 黄 銅 ・ コ ー ペ ル		395	392	393	389	ビス付サッシ・バラ	52	50	52	52
黄 銅 棒 地		380	383	374	389	込 み ガ ラ	33	30	32	32
黄 銅 削 粉		374	371	371	358	ア ル ミ 合 金 削 粉	35	33	33	34
並 黄 銅		283	283	282	281	ア ル ミ 缶 A プ レ ス	40	36	39	38
黄 銅 鋳 物		301	303	283	293	ア ル ミ 缶 バ ラ	24	23	21	22
込 み 黄 銅		363	360	360	347	自動車関連 触 媒 は 1 個 当 り 円				
上 青 銅 鋳 物		393	392	386	394	品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
並 青 銅 鋳 物		380	377	377	411	足 回 り ・ シ ャ ー シ	12.0	11.0	12.5	11.5
青 銅 削 粉		371	371	376	379	ボ デ ィ ガ ラ (- 30%)	9.5	8.5	9.5	8.5
新切リン青銅・伸銅向け		529	—	530	527	ハ ー ネ ス	157	157	157	157
錫 1 号		1900	1900	1900	1900	アルミホイール(1ピース)	100	100	100	100
青 銅 合 金 6 種		660	660	660	660	セ ル ・ ダ イ ナ モ	29	29	29	29
亜鉛・鉛						アルミラジエーター	12	12	12	12
品 目		東 京	名古屋	大 阪	北九州	白 黒 エ ン ジ ン	27	26	26	26
亜 鉛 新 切		▼ 79	▼ 79	▼ 81	▼ 77	触 媒 ・ 大	9700	9700	9700	9700
亜 鉛 合 金		▼ 55	▼ 57	▼ 54	▼ 55	触 媒 ・ 中	5700	5700	5700	5700
亜 鉛 ド ロ ス		▼ 61	▼ 62	▼ 60	▼ 55	触 媒 ・ 小	2900	2900	2900	2900
再 生 亜 鉛 (98)		▼ 169	▼ 169	▼ 169	▼ 169	自動車用廃バッテリー	23	23	23	23
再 生 鉛 3 号		191	191	191	189	古紙相場 (関東地区直納問屋ヤード持込 円/kg)				
上 鉛		109	109	106	106	新 聞	8~11	段 ボ ー ル	7~10	
ステンレス・特金						雑 誌	5~7	色 上 (並)	6~8	
品 目		東 京	名古屋	大 阪	北九州	特殊金属全般 ステンレス・チタン				
ニ ッ ケ ル 地 金		1130	1130	1130	1130	八興商事株式会社 代表取締役 田 所 正 輝 本 社 大阪市西淀川区佃 1 - 1 - 95 電 話 0 6 (6 4 7 3) 0 9 2 1 (代) F A X 0 6 (6 4 7 3) 0 9 2 3				
ニ ッ ケ ル ・ シ ャ ブ リ		800	800	800	800					
42 ア ロ イ		325	325	325	325					
S U S 304 新 切		30	30	25	25					
S U S 304 削 粉		15	15	10	10					
S U S 3 1 6		105	105	105	105					
S U S 3 1 0		135	135	135	135					
ク ロ ー ム 新 切		8	8	8	8					
ハ イ ス 9 種		130	130	130	130					
超 硬 チ ッ プ		900	900	900	900					
純チタン(鉄鋼添加用)		140	140	140	140					